

没後400年、氏姫

古河で 武者行列 記念法要

室町時代、古河を拠点に約130年間勢力を張った氏姫(1574〜1620年)をしのぶ没後400年記念の古河総合公園(古河公方公園)であり、武者行演奏などが行われた。

氏姫は古河公方の5代目・足利義氏の娘。義氏の死後、事実上の当主となった。対立してきた分家筋と結婚・再婚して喜連川(栃木県さくら市、古河市の姉妹都市)に所領を得たが、自身は生涯にわたり古河公方館(51)、「れきしクン」とし

(鴻巣御所、現在の同公園)に住み続けた。法要は市民団体「古河史楽会」(大久保昌安会長)が主催。初代古河公方の弟が建立した寶聚寺(埼玉県久喜市)の藤島智勝住職(51)、「れきしクン」とし



武者姿で古河市内を練り歩く古河史楽会のメンバーたち=同市鴻巣

逃げ遅れ、感染症防げ

県と 坂東市 合同で避難力強化訓練

水害などの自然災害発生の際に、住民の逃げ遅れを防ぐとともに避難所における新型コロナウイルス感染症対策の確認などを目的に、県と坂東市は10月31日、坂東市立七重小



学校(同市借宿)をメイン会場に、避難力強化訓練を実施した。

利根川が避難判断推移に到達し、今後さらなる水位の上昇が予想されることから、市は警戒レベル3に当たる「避難準備・高齢者等避難開始」を実施した。

図書購入費10万円 岩井二小に贈る
南海工業、筑波銀行 建設用コンクリート製品製造業などを手掛ける南海工業(坂東市辺田、玄昶徳社長)と筑波銀行(土浦市)は10月26日、寄贈サービス付きSDGs私募債「地域の未来応援債」の発行手数料の一部を活用するなどして、坂東市立岩井第二小(同市辺田、後藤昌範校長)に学校図書購入費10万円を寄贈した。



木村敏文市長(中央)に目録を手渡す玄昶徳社長(右)と岩東市役所

市役所で行われた贈呈式には、木村敏文市長、倉持利之教育長、玄社長、同行列を従来の南北から東西の方向に変えて耕作した。昨年よりも約200株増やせたという。

10月20日(ころから黄色の花が咲き始めた。晴れの日が続く中、次いで赤色の花が開花し満開になった。11月中旬ごろまで楽しめるという。

国彦さんは「一番良い時期。黄色の花は太陽の光が反射してまぶしいくらい。世の中が明るくなった気がする」と話した。(富岡良一)

賀詞交換会を中止

筑西市

筑西市(須藤茂市長)は2日、2021年の市新年賀詞交換会を新型コロナウイルス感染症予防の観点から中止すると発表した。同賀詞交換会は例年1月に、市のほか、下館商工会議所(関正夫会頭)、JA北つくば(吉川君男代表理事組合長)、市商工会(大畑良雄会長)の共催で開かれて

講演・講座

【筑西市】
◆ベートーヴェン生誕250周年特別講座「コロナ

情報クリック

催し

【筑西市】
◆鮭の遡上ウォーク 8日午前9時半(下中山)の下

純金・純銀記念メダル

国立競技場公式ライセンス商品